

# 松野氏 辞職前 4660万円

## 官房機密費 2週間で使用

林芳正官房長官は13日の衆院予算委員会で、松野博一前官房長官が昨年12月、自民党安倍派の裏金問題で同月14日に官房長官を辞職

するまでの2週間で、内閣官房報償費（機密費）を4660万円使用していたことを明らかにした。使途についても「報償費は国の機

密保持上、使途を明らかにすることが適当でない性格の経費」と述べた。松野氏個人への支出ではないとしている。

立憲民主党の山岸一生氏

への質問。林氏は「内閣官房報償費のうち、政策の円滑かつ効果的な推進のため、機動的に使用する」と必要性を説いた。松野氏

が述べた。

山岸氏は「裏金問題で渦中の人である松野氏が辞めるまでの短期間に、同じようないべースでお金を使っていたのはおかしいのではないか」と指摘した。松野氏の支出は12月の「しんぶん赤旗」が報じていた。

松野氏は13日、国会内で記者団の取材に応じ、機密費について「歴代内閣ずっと同じ形で、法律にのつとつて取り扱われている」と語った。野党側は、昨年12月1日に自民党最大派閥の清和政策研究会（安倍派）の裏金疑惑が報じられた日に支出がされてくる」とを問題視しているが、「私の場合は在任中の2年2カ月の間、一貫しておおむね月初に受け渡しが行われていた」と述べ、通常通りの取り扱いだったと主張した。